

表紙のことは

鈴村 遼 「ゆきだるまとわたし」

この作品は布を発泡スチロールの土台にきめこんで描いています。制作時、私の暮らす札幌は真冬でした。冬は障害のある人にもない人にも長くつらい季節です。かくいう私も最近の激しい夏から短すぎる秋、一気に真冬……という流れが身体にも心にもこたえます。外は寒いですが、この作品を見てくださった方が少しでも温かく、ほっこりしていたら嬉しいです。

私はうつ状態で病院にかかり、発達障害（ASD）と診断されました。最初は「障害」という言葉にショックを受けましたが、感覚過敏や得意不得意の差が激しい等、学ぼうと確かにこれは私のことだと思いました。

今は作業療法に通い、自分の得意である作品づくりを通して、自分の性質を受け入れうまく使って人生を楽しく生きる方法を模索中です。



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



小山直子 「蟹」

カニカマは、DHA、EPA、タウリン、ビタミン等が豊富に含まれているので毎日食べていました。

蟹は色もきれいで可愛いので好きなのです。

この作品は、リハビリで私を元気にしていただいた先生にお礼を込めて、蟹を絵にしてプレゼントしたものです。

とても気に入っていただいて、この絵はいつまでも手元において大切にしますと喜んでいただきました。

（小山直子、担当OT：竹下 郁）